

身体活動量・座位時間の組み合わせとがん発症との関連の検討に関する研究のお知らせ

神奈川県立保健福祉大学ヘルスイノベーション研究科では以下の研究を行います。

本研究は、倫理委員会の審査を受け承認された後に、関連の研究倫理指針に従って実施されるものです。

研究期間	2023年12月27日～2025年3月31日
研究課題	身体活動量・座位時間の組み合わせとがん発症との関連の検討
研究の概要	<p>目的及び意義：本研究では、約8年間追跡している大規模コホート研究（J-MICC研究）のデータを用いて、身体活動量・座位時間の組み合わせによるがん発症との関連を性別・年代別に検討することを目的とする。本研究によりがん予防に最適な身体活動量と座位時間の組み合わせを解明することができ、疾病予防の戦略構築に資する知見を得ることができる。</p> <p>方法：J-MICC研究にて調査された以下の変数を用いて二次分析を実施する。</p> <p>対象者 本研究では、J-MICC研究に登録され、がん罹患に関する分析が可能な者約78,000名を解析対象者とする。</p> <p>調査項目 がん発症 本研究では、先行研究により身体活動量および座位時間との関連が報告されている乳がん、膀胱がん、結腸がん、子宮体がん、食道がん、腎臓がん、胃がん、肺がんの発症をアウトカムとする。 がん発症の評価は、全国がん登録（2016年以降診断症例）、地域がん登録、主要医療機関での調査、対象医療機関の院内がん登録（医療機関で調査を実施する調査地区の場合）、郵送法などによる研究協力者への定期的調査、死亡小票、健康保険診療から得られた情報、第二次調査（質問票）等に基づき判定する。研究協力者への定期的調査、死亡小票、健康保険診療から得られた情報、第二次調査によってのみ把握されたがん罹患については医療機関に照会する。</p> <p>身体活動・座位時間 質問紙調査により、各行動の実施時間を評価する。先行研究で用いられている基準にならい、身体活動量（MET.minutes/week）を算出して4群に分類する。座位時間は先行研究と同様に4群（<5h/day, 5-<7h/day, 7-<9h/day, ≥9h/day）に分類する。身体活動量と座位時間を組み合わせて16群のカテゴリーを作成する。</p> <p>調整変数 質問紙調査および血液検査により、基本属性（性、年齢、調査地域、最終学歴）、健康状態（既往歴、血液検査データ）、健康行動（飲酒、喫煙、睡眠状況）を調査する。</p>

	<p>統計解析</p> <p>身体活動量とがん発症との関連を検討するために Restricted cubic splines を実施する。身体活動量の中央値を reference とし、身体活動量とがん発症との間に量反応関係がみられるか、その関連は線形か非線形かを検討する。</p> <p>身体活動量と座位時間の組み合わせとがん発症との関連を検討するため Cox proportional hazard model を実施する。身体活動量が少ないかつ座位時間が長い群を Reference とし、がん発症リスクを検討する。また、座位時間の水準ごとに身体活動量とがん発症との関連を検討し、座位時間により両者の関連が異なるかを検討する。</p> <p>身体活動の強度や頻度による影響の検討においては、がん発症を目的変数、高強度身体活動時間の割合ならびに身体活動実施頻度を説明変数、上述の調整変数と総身体活動量を調整した解析を実施する。</p>
研究組織	<p>【研究代表者】</p> <p>ヘルスイノベーション研究科 講師 根本 裕太</p>
個人情報の取扱い	<p>研究代表者が受け取るデータは、J-MICC 研究中央事務局で匿名化された状態であるため、個人情報は取り扱わない。</p>
その他	

対象となる方で、研究の内容や、ご自身の検査結果などの研究への使用に関して、より詳しい情報をお知りになりたい場合は、下記の問い合わせ先までご連絡下さい。ご協力よろしくお願い申し上げます。

〔問い合わせ先〕

研究代表者： ヘルスイノベーション研究科 講師 根本 裕太
 TEL : 044-589-8100 (代表)